

## 授業科目 日常生活活動学実習Ⅱ（生活技術代償法）

【担当教員名】		対象学年	3	対象学科	作業
今西 里佳		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【概要・一般目標：G10】 生活動作や行動に支障をきたした対象者の障害を軽減させるための代償法について、基本的知識および技法について学習する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 主要な疾患ごとに、ADLの特徴を述べることができる。 2. 主要な疾患のADLを評価することができる。 3. ADL評価に基づき、訓練計画を立案し、実施できる。 4. 福祉用具それぞれの種類を大別し、その名称を述べることができる。 5. 福祉用具それぞれを障害や環境、利用目的に応じて適切に選択できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	脊髄損傷のADL			1	実習
2	脊髄損傷のADL評価			2	実習
3	脊髄損傷のADL訓練（1）			3	実習
4	脊髄損傷のADL訓練（2）			3	実習
5	脊髄損傷に対する福祉用具			4,5	実習
6	RAのADL			1	実習
7	RAのADL評価			2	実習
8	RAに対する福祉用具とADL訓練			3～5	実習
9	脳血管障害のADL			1	実習
10	脳血管障害のADL評価（1）			2	実習
11	脳血管障害のADL評価（2）			2	実習
12	脳血管障害のADL訓練（1）			3	実習
13	脳血管障害のADL訓練（2）			3	実習
14	脳血管障害に対する福祉用具			4,5	実習
15	住環境整備			5	実習
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	ADLとその周辺 第2版	伊藤利之、鎌倉矩子	医学書院	2008・6,000円	
	ADL 第2版—作業療法の戦略・戦術・技術	生田宗博	三輪書店	2005・4,725円	
参考書	片麻痺能力回復と自立達成の技術	生田宗博	三輪書店	2008・5,200円	
	脊髄損傷マニュアル リハビリテーション・マネージメント第2版	神奈川リハビリテーション病院 脊髄損傷マニュアル編集委員会	医学書院	2004・5,250円	
	バリアフリーの生活環境論 第3版	野村みどり	医歯薬出版	2004・6,800円	
その他の資料					
【評価方法】 出席、授業態度、定期試験の結果を総合的に判断する		【履修上の留意点】			